

FURUTECH

Review

Audio Accessory

オーディオアクセサリー大全—2022-2023 - JAPAN



フルテックの好評NCFシリーズ最新モデル

空いたコンセントに挿すだけで表現力をアップ 音源が持つ艶や深みなどに磨きをかける

ケーブル周辺や電源を含む各種端子まで、これまでにない優れた音質性能を実現させて世界的な大ヒットとなっている、フルテックのNCFアクセサリー。そのラインアップはケーブルインシュレーターから電源プラグなどの端子本体に至るまで多岐にわたり、たくさん使っても音の副作用を見いだせない特徴も高い評価を得ている。NCF Clear Lineはパッシブタイプの並列型電源アクセサリーで、有効な改善ポイントをまた新たに提示した最新の製品となる。その効果と魅力を3人の審査委員が語る。

Main Photo by 田代法生



FURUTECH NCF Clear Line

ACオプティマイザー ¥25,080(税込)

Specifications

●サイズ：約39.5W×88.4Lmm ●質量：約69g(ネット) ●全ての導電性パーツはロジウムメッキアルファプロセス処理 ●優れた振動減衰特性を持つマルチマテリアルハイブリッド構造



Grand Prix
(グランプリ)



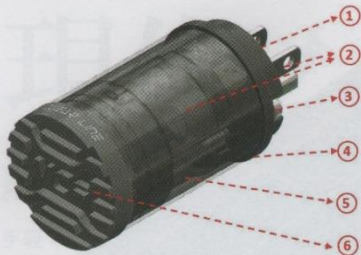
まずその素材や構造、そして各部が狙っている役割について。大きくまとめると、静電気対策と、振動コントロールという二つの作用原理を持つ製品だ。全体はボディ部、電極部とエアコイル部、カバー部に分けられる。コンセントなどに挿さる部分から説明していくと、電極部(プラグの刃)は純銅にロジウムメッキを施

す。壁コンセントや電源タップの空いた口に差して使うタイプのオーディオアクセサリーは、各社からさまざまな作用原理、デザイン、そして幅広い価格帯のものがリリースされている。こんな状況の中でフルテックからの解答が、NCF Clear Lineである。きちんとした効果、人念とも言える作り、そしてパフォーマンスに対しての適切な値段。こうしたものが総合的に評価されて、オーディオアクセサリー銘機賞のグランプリを受賞した。

入念な作りと素材構造により
静電気や振動をコントロール

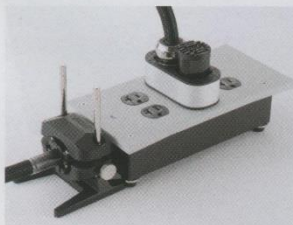


Text by
鈴木 裕
Yutaka Suzuki



構造図

- ① ボディ部：NCF調合ナイロン樹脂
- ② 電極部とエアコイル：α純銅ロジウムメッキ導体／α-OCC単結晶銅導体エナメル線の外層に高性能なシルバーカラー特殊制振塗料でコーティングを施したエアコイル
- ③ 自社特注の特殊な制振T10ステンレスネジとワッシャー
- ④ハウジング：内部には制振性の特殊なナイロン樹脂絶縁リングを組み込んだNCFを採用し、外側を特注のハイブリッドNCFカーボンファイバー+特殊クリア硬質コート塗料で仕上げた4層構造
- ⑤ 密閉型の空気室：振動に対して内部の空気圧が抵抗となる
- ⑥ NCFエンドカバー：カバー部を凹凸構造の立体設計でNCF素材の面積を平面構造のものよりも約76%アップ。NCFのタスク効率を向上させる機能を実現



「NCF Clear Line」は対象機器の電源ケーブル直近への使用がより効果的。また「NCFシリーズ」は、併用していく相乗効果がより一層のクオリティアップが望める。FURUTECHのNCFコンセントを搭載した電源ボックス「e-TP609 NCF」(¥187,000、税込)に、コネクタ／ケーブルホルダーの「NCF Booster-Brace」(¥21,780、税込)や「NCF F Booster」(¥36,080、税込)を併用した例



「NCF Clear Line」内部。エアコイルはα (Alpha) OCC単結晶銅導体エナメル線の外層に、高性能なシルバーカラー特殊制振塗料でコーティングを施すことで振動を抑制。「2段階～超低温処理および特殊電磁界処理～α-Process アルファプロセス」も採用

した上、同社のアルファプロセスをかけている。クライオ処理とリソグ消磁処理の二段階の工程だ。いずれも、電気伝導率を向上させる働きがある。

これが、本体の黒い部分に装着されている。本体はナイロン+グラスファイバーに、ナノ単位の特異なセラミックパウダーとカーボンパウダー、さらにNCF(チノクリスタル・フォーミュラ)を調合している。内部は空気室として生かしてあるようだが、その上部に突き出ているのが、二つのエアコイル。このコイルは片側は電極と接続されているが、その反対側は電氣的に浮かせてある。素材はα・OCC銅で、これもアルファプロセス処理済み。銅の表面にはポリウレタンペイントでコーティングした外側に、さらにアクリルペイント。そして二つのエアコイル

の間に、NCF絶縁プレートを設置。帯電防止や共振抑制のマトリアルになっているという。

カバーの筒の部分は4層構造になっている。内側から説明すると、まずNCFナイロン樹脂絶縁があり、NCF+3Kカーボンファイバー層、そしてNCF+カーボンファイバー特殊制振複合材質がそれに組み合わされ、最外層に特殊クリア硬質コートが施されている。「NCF」のロゴのあるエンド部は、NCF配合の耐熱性樹脂。厚みのある作りで、凹凸形状にすることによって表面積を増やしている。その割合はフラットなものと比較して76%アップ。ここは「振

動を効果的に吸収、音のバランスとパフォーマンスを飛躍的に向上させる目的だ。ちなみに24時間以上のエージングが推奨されている。

その効果は、音の背景が静かになり、ひとつひとつの音自体の色あいや質感が良く出てくる。付帯音がなくなることによって、本来のソフトに入っている艶とか深みが見えてくる傾向だ。スピーカーからの音離れも良くなり、サウンドステージのワク自体が広くなる感覚もある。効果はかなり大きい。基調としては、くっきりはつきり聴こえる方向性。シャープさが欲しいオーディオやコンポネット向きの特性を持っている。

音自体の色あいや質感が向上
音場を広げシャープさを出す

審査委員が語るNCF Clear Lineの魅力

オーディオアクセサリ銘機賞審査委員

生形 生三郎

Saburo Ubukata



個性を付与せず純度や透度を増し
システム全体の再現力を発揮する

NCF Clear Lineは、その名の通り、クリアなサウンドをもたらすパッシブ型の電源アクセサリだ。人気のNCF Boosterシリーズ同様に、再生音に対して特定のキャラクターを付与するのではなく、システム音質の純度や透度のみが増すかのような効果を持つことが特徴的だ。その効用こそが、ユーザーのリピート(買い増し)が起きる理由だろう。本製品も、アプローチは違えど同傾向の効果が楽しめる。凹凸形状で表面積の大きいNCF部や、電極部に取り付けられたコイル状パーツ、そして筐体全体による制振効果の恩恵か、システム全体のS/N感が向上して定位や音場感が明瞭化し、低域方向もより明快な再現力が発揮される。筆者の感触としては、大きな電力を必要とするパワーアンプ系は音の勢いが充実し、エネルギー的な立ち上がり。プリアンプやアナログプレーヤー系などは、歪みや雑味感の抑制効果が得られると実感し、特に後者の効果に感心した。

オーディオアクセサリ銘機賞審査委員長

福田 雅光

Masamitsu Fukuda



簡単に使えて副作用がなく効果的
外すと平面的で解像度が低下する

電源ボックスの空きコンセントに接続して使う、電子回路を持たない一種の電源コンディショナーと考えられる製品だ。並列型ノイズフィルターの動作は備えていない。高級ロジウムメッキの電極、制振性能の高いNCF素材を調合した電極保持構造。内部に空芯コイルがある。筆者の解釈としては高性能制振性能により、コンセント側電極の安定性を改善するものと考えている。CDプレーヤー用の電源ボックスに装着してテストすると、中低域のエネルギーを強化、透明度を高め、ノイズ感が減少する。コントラストもはっきりする。混濁や音の弛みが少なく、低音は力強い効果をみせる。複雑音が林立するビッグバンドジャズなども、解像度を明瞭にしてとても聴きやすくなる。外すと音はぬるくなり、起伏が浅く音楽は平面的に聴こえてしまう。コントラストや解像度が低下することが確認できる。簡単に使えて副作用がなく、効果的な電源アクセサリである。